

- 1 日時 令和3年10月15日(金)
- 2 学年・学級 第1学年2組(男子 17名 女子 15名) 計 32名
- 3 主題名 思いやりとは (B 思いやり, 感謝)
- 4 ねらい 見守る思いやりと手を差し伸べる思いやりを比較しながら, 思いやりの根底にある, 温かい人間愛や人間尊重の精神気付き, 思いやりある行動をとろうとする道徳的判断力を育てる。
- 5 教材名 「思いやりの日々」(出典 東京書籍「新訂新しい道徳1」)
「おかあさんのお手伝い」(出典 熊野東中学校道徳教育推進委員会)

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

思いやりとは, 単に人に何かを施してあげることではない。相手の気持ちを押し量り, その人のためを思うのであれば温かく見守るということも思いやりであり, 何が思いやりで何が思いやりでないかは表面的な話では解決しない。思いやりの根底には, 人間の根底にある人間とはかけがえない存在であるという人間愛や人間尊重の精神に基づく人間への理解や共感がある。集団で生きている以上, 生涯を通して考えていかなければならない尊い課題である。人間尊重の精神は, 自分も他者も, かけがえない存在であるということをしっかり自覚させたい。

(2) 生徒の実態について

入学して間もない時期には, 人間愛に基づく他者との関わりをもつことの大切さを理解できるようになってくる。本クラスは友達関係にも積極的で, 男女関係なく仲のよいクラスである。どんなことにも前向きで, 授業の雰囲気もよい。5月実施のアンケートの結果では「相手のことを思いやり, 親切にしている」肯定的評価91%である。しかし, 授業中の私語が目立つ時期に話し合いをすると, 「あの人がいつもうるさい」「どうせ自分だけうるさいから, 自分が我慢すればいい」など, 自分と他者を共に尊重する思いやりのない発言が少数ではあるが見られた。

(3) 教材の特質と活用方法

「思いやりの日々」も「おかあさんのお手伝い」も, 主人公の接し方を通して, 障がいのある人との関わり方を考える教材である。「思いやりの日々」では, 何から何まで手を差し伸べるのではなく, 相手の思いや未来のことまで考えて, 見守ることで思いやりが行動に表されていることが特徴的である。「おかあさんのお手伝い」では, 障がいを持っているおかあさんに対して娘がお手伝いをするという行動で思いやりを表現されている。指導に当たっては, 二つの資料を比較し, その共通点から, 本当の思いやりについて考えることで, 思いやりある行動をとるための道徳的判断力を育てたい。

指導に当たっては, ①意見の対立が生まれる導入を設定し, 問題意識を持たせ②二つの教材を設定することで比較思考を促し③四つの対話を意識して, 深い学びにつなげ④補助発問においても共通点などを意識させることで, さらに深い道徳的価値の理解を促す。なお, できない相手に何かをしてあげるなどの哀れみと混同してしまう視点には留意する。

7 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応 (○基本発問 ◎中心発問 △補助発問)	指導上の留意点(・) 評価の観点(☆)
導入	1. 思いやりについて疑問を持つ。【確認の対話】 (ペア活動)	<p>○ある授業中、隣の友達に「消しゴムを貸して欲しい」と言われた。その友達は今月で5回忘れていました。あなたは、その友達に消しゴムを貸すことが思いやりだと思いますか貸さないことが思いやりだと思いますか。</p> <p>○貸すのが思いやり・・・19名(仮)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消しゴムがないと勉強ができなくなるから、助けた方が思いやりだと思う。 ・貸す方が優しいと思うから、貸す方が思いやりだと思う。 <p>○貸さないのが思いやり・・・13名(仮)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回貸していたら、ずっと持ってこなくなって、自分で解決できなくなる。 ・貸すより、忘れた理由を聞いて、一緒に解決方法を考えた方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の対立が生まれる導入を設定し、問題意識を持たせ、学ぶ意欲を高めさせる。
本当の思いやりってなんだろう			
展開	<p>2.</p> <p>(1)「思いやりの日々」から思いやりについて考える。(事前に教材は読んでいる)【発表の対話】 (グループ活動)</p> <p>(2) 教材を読む。 「おかあさんのお手伝い」から思いやりについて考える。【発表の対話】 (グループ活動)</p> <p>(3) 二つの教材を比較して、思いやりの根底にある道徳的価値について考える。(全体交流)</p>	<p>○かずたけさんが考える思いやりってなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手(きよみさん)のことを考えて、見守ることも思いやりだと思う。 ・助けるだけでなく、相手の気持ち(意志)を考えること ・相手の未来のことまで考えてあげること ・相手や自分の意志によって、形が変わるもの <p>○「私」が考える思いやりってなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手(母親)を愛すること ・相手への感謝の気持ちを持つこと ・相手が喜んでくれるもの <p>◎見守る思いやりと手を差し伸べる思いやり、共通する心があるとしたら、どんな心だろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考えて(尊重して)いること ・相手を愛していること(人間愛) ・相手の未来を考えていること ・相手の自立を考えていること(自分自身が依 	<ul style="list-style-type: none"> ・一貫して同じ問いを生徒に投げかけることを通して、生徒の考えの変容を促す。 ・二つの教材を設定することで比較思考を促す。また、生徒の多面的・多角的な考えを促す。 ・二つの教材を比較して考えさせることで、思いやりの根底にある道徳的価値の理解をさらに深めさせる。

		<p>存して迷惑をかけていないか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちを先に考えていること (相手の意志) <p>△相手が喜んでいなくても、できないことを助けることは、相手の未来のことを考えた思いやりといえるだろうか。(批判的思考)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手はその時は思いやりだと気付いていなくても、後々気付くこともあるから、思いやりだと言える。 <p>△例えば授業中に、相手が喜ばなくても、相手の未来のことを考えて注意をすとか、自分ならできるかな。(立場の入れ替え)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本当は言いにくい気持ちもあるけど、相手のことを考えたらやった方がいいと思う。 <p>△今まで思いやりだと思わなかったけど、振り返ってみると思いやりだと思うことって、どんなことがあるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今まで親に勉強しなさいと言われていて鬱陶しいと思っていたが、改めて考えてみるとそれも自分の将来のことを思いやってかけてくれた言葉なのかなと思った。 地域の人に信号を無視して渡ったときに注意をされて面倒だと思ったけど、自分の命のことを一番に考えてくれていたと思った。 <p>○本当の思いやりってなんだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が何かをしてあげることだけを考えるのではなく、相手の未来や意志を大切にすることが大切なんだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> できない相手に何かをしてあげるなどの哀れみと混同してしまう視点に留意する。 思いやりという道徳的価値の深みを感じさせることで、相手を本当に思いやることの難しさを実感させる。 思いやりについて多面的、多角的な視点から自分の生活を振り返る。
<p>終末</p>	<p>3. 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○今日の学習を通して、どう感じましたか。感想を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の授業で、思いやりとは相手の幸せを考えてすることで、一方的な思いやりでは相手の意思を尊重できてないことがあると思った。 誰かに何かをされたとき、自分が思っていた思いやりではないことも、実は思いやりだったということもあるので、これからは行動する前にいろんな考え方をしていきたい。 思いやりを大切にして口では簡単に言えるけど、本当に相手のことを考えた思いやりは難しいことなんだと思った。 	<p>☆自己を振り返り、思いやりの根底にある、温かい人間愛や人間尊重の精神気付き、思いやりある行動をとろうとしようとしているか。(ワークシート)</p>

8. 板書計画

